

アリウス

ALIU
GATE

ゲート

～ 六花編 ～

触手アナル責め

本編49P

R18

ADULT ONLY

僕の名前は六花^{りっか}
僕は異世界の人造人間をつくる技術と
こっちの世界の科学技術でつくられた「ホームシクルス」という存在です

その中でも戦闘用として作られた僕は
異世界とこちらの世界の門「アリウスゲート」を介して侵入してくる魔物を
討伐する任務を行っています

そんな僕に今日はある任務が
与えられました

この廃墟群に住み着いた
とされる魔物の討伐です

経験の浅い僕は
単独任務が今回で初めてです
なので正直とても不安です：







ここにもいない…

ここにはいないな…



お嬢ちゃん
こんなところで
何してるの？

ビクッ



もしかして迷子？
それなら…

スツ



お姉さんと
いいところ
行かない？



ん〜おかしいなあ
心配するし
このあたりだと思っただけどなあ



誰だ!!

ザッザッ

ダッ

人っ…?
いや違う

あの角としっぽは
普通じゃない!

コイツが
廃墟の魔物だ…!

あら…
そんなに警戒しなくてもいいのにお姉さん傷ついちゃうわ



ならあなたを
討伐します！



そう呼ばれる
こともあるわね



魔物…ですね？
あなた



あなたに倒せるかしら!!

そう…?
こっちの世界にもいるのね
あなたみたいなの
でも…



ピッキッ

ダッ





あなた本気に入ってたわ
少し本気を見せてあげる!

いまさら
虚勢ですか!

ぐっ...
今のは効いたわ
あなた案外強いよね

小さいからって
油断してたわ...

ガハッ!?

ダッ





ギッ

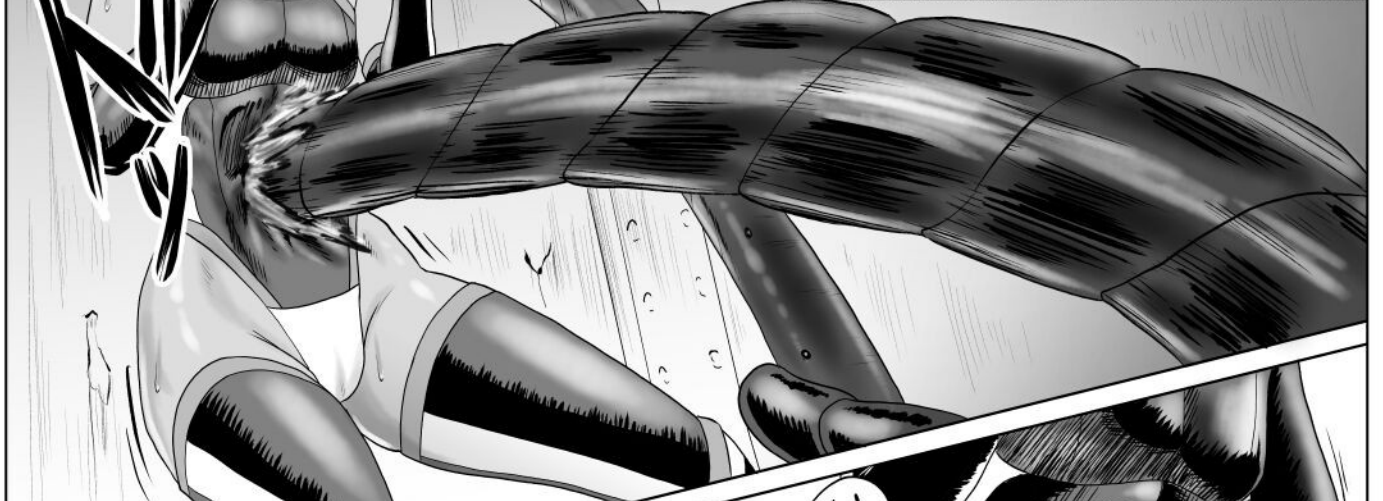
まずは...

これ以上抵抗できないように
痛めつけてあげるわ

ギッ

苦しい...!!
このままじゃ
やられる...!!

足が地面につかない...!!





フフッ
おとなしくなったわね

でもこれで
終わりなんて
思わないで
ちょうだい

ギッ

ギッ



あなたにはもっと
苦しんでもらうんだから
さあ…
覚悟はいいかしら！

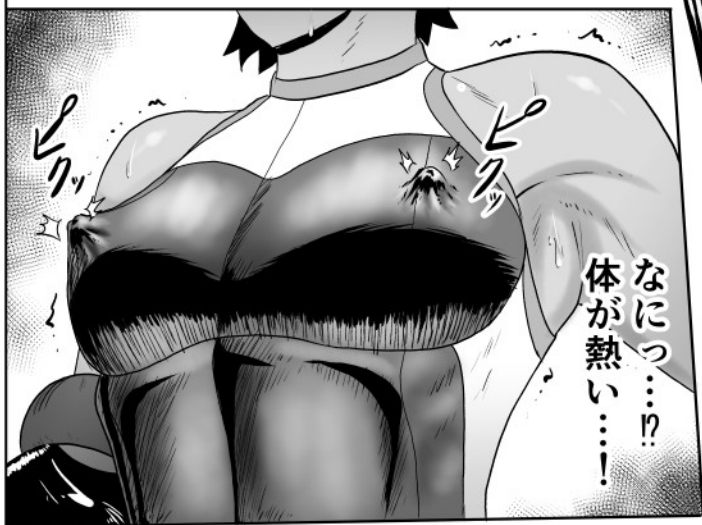




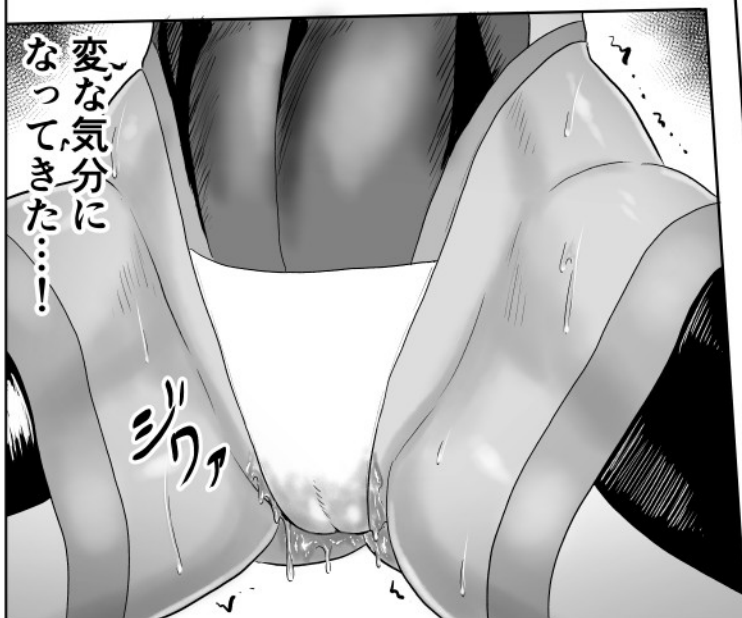


すぐに分かるわ

なっ…何を
飲ませたん
ですか？



なにっ…!?
体が熱い…!



変な気分
になってきた…!







どうかしら
この子たち
かなりのお上手だと
思わない？

んぐツ...!!
そ...そんなこと
ありませんっ

そう...
じゃあこの子たちを
試してみようかしら



いやっ...!!
中でヒダが
動いてるっ



ヌラァ〜

おあッ!!

ビクッ



なっ...!!
乳首が吸われてる!
こんなのもう...!!

あ...あ...!!?

フェルルッ

んん!!

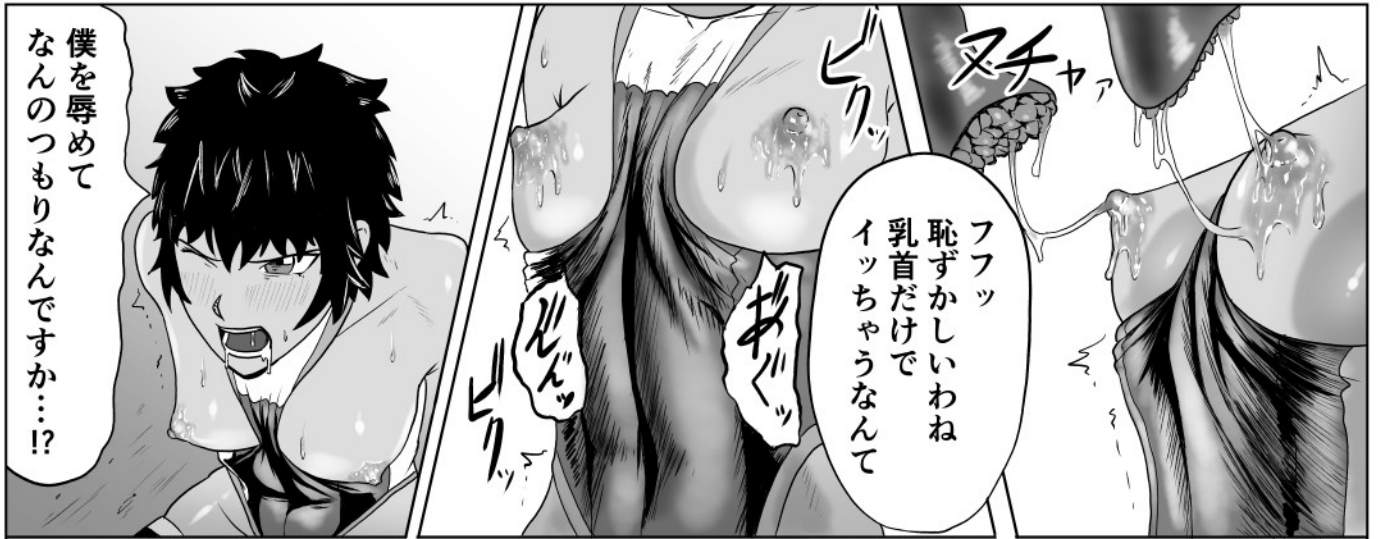
まだ耐えるの?
でも...
これでとどめよ!

又左

んん!!
ぐあ!!
あ!!
あ!!

クッ
クッ
クッ

クッ



僕を辱めて
なんのつもりなんですか…!?

フフッ
恥ずかしいわね
乳首だけで
イッチャうなんて



私はサキユバス
人の快楽を魔力に変えて生きる者

あなたが快楽に喘ぐほど
それが私の糧となる



だから
あなたにはもっと
喘いでもらうわ

クィッ





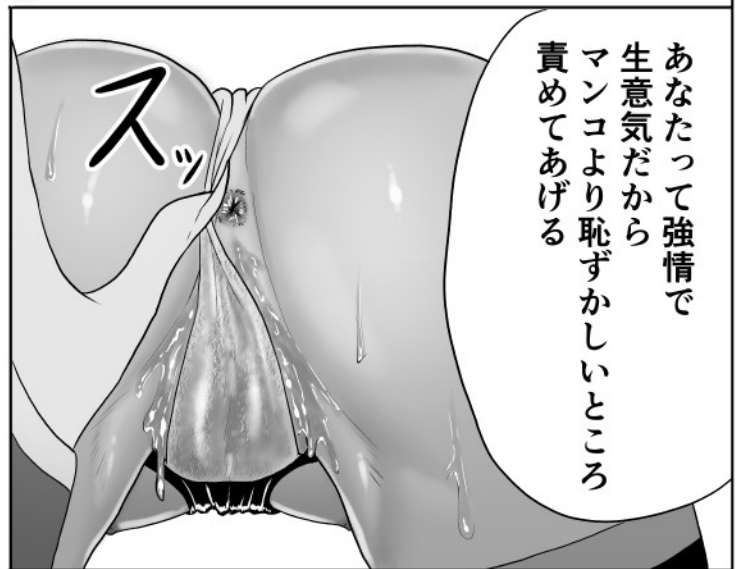
そうだし
いいこと
思いついたわ



何を感じてないよ
こんなにおマンコ
濡らしちゃって



嫌っ
そんなところっ……!!



あなたって強情で
生意気だから
マンコより恥ずかしいところ
責めてあげる



この子はね
強力な媚毒を分泌できるの

今からこの子を
あなたのケツ穴に
ぶち込んで
いくっばい
塗りこんであげる



その触手で
何をするつもりですか…!?

心配しなくて
いいわよ
この子すぐに
気持ちよく
してくれるから



そんなっ…
どんだん奥に
入っていく…!!

一度入られたら
自力で押し出すのは不可能よ
もうこの子のなすがままね

ズ
ル
ッ
ズ
ル
ッ

グ
グ
グ
グ

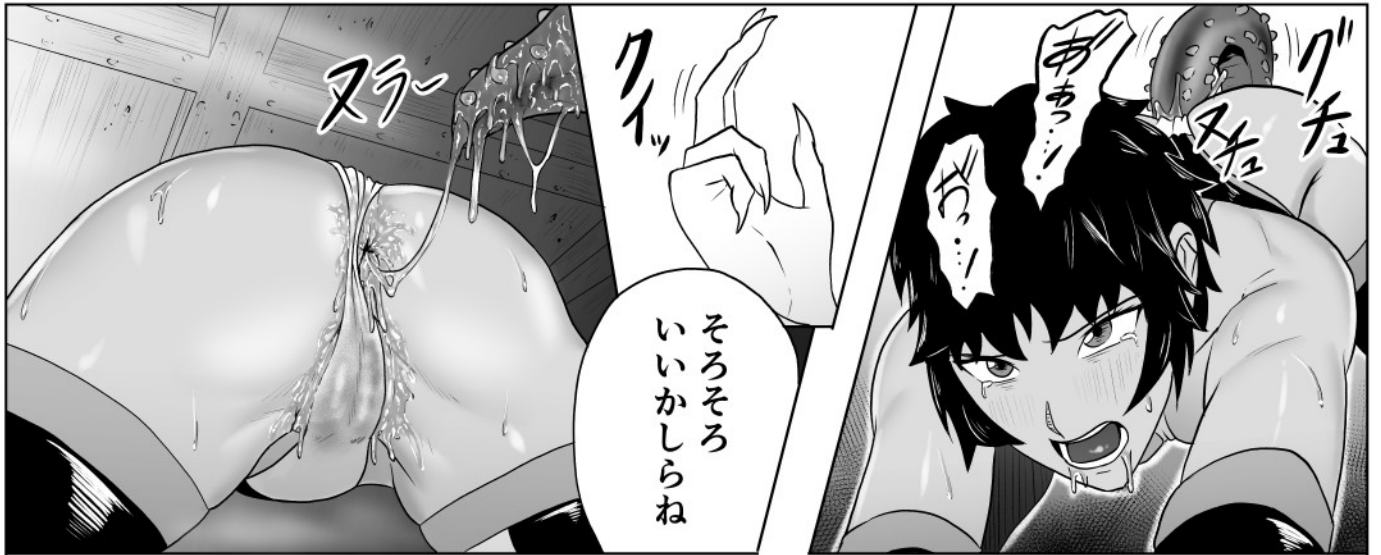
お
っ!!

グ
ポ
オ

グ
グ
グ
グ

グ
グ
グ
グ



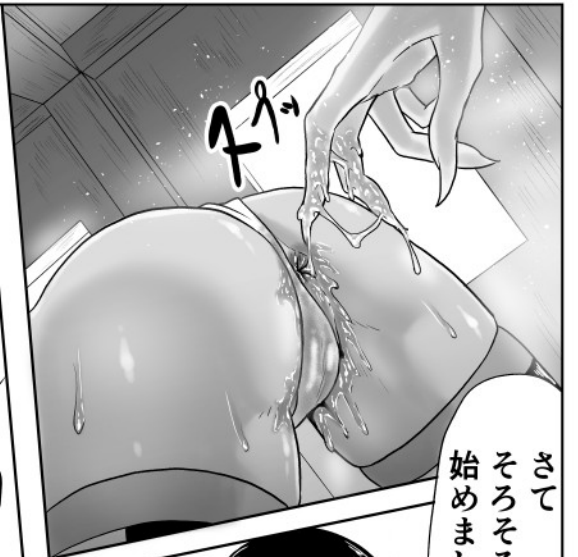


そろそろ
いいかしらね





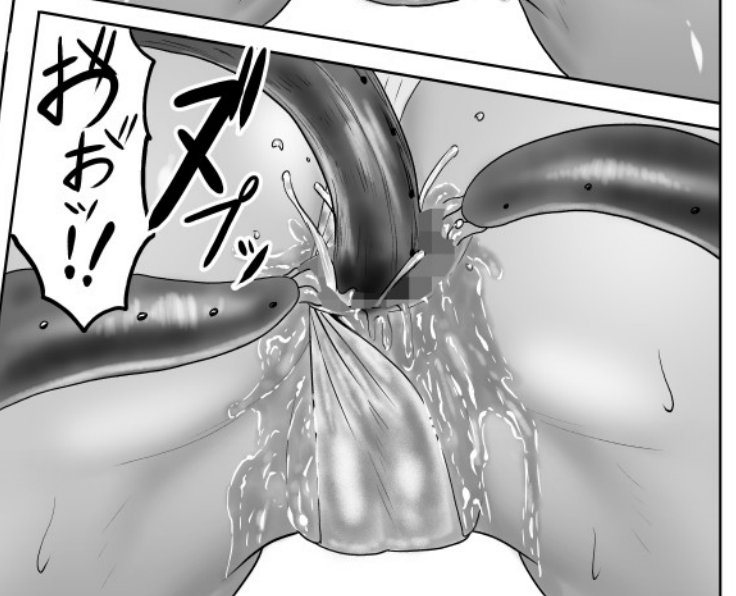
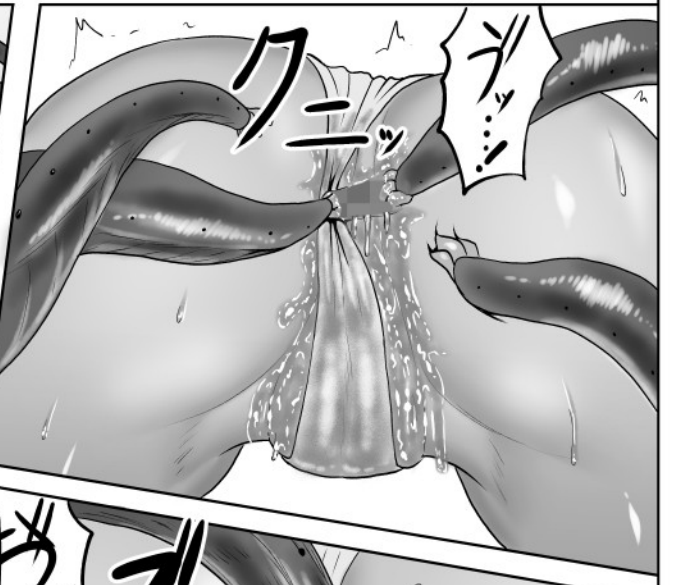
まずは小さいのから
慣らしていきましょう



さて
そろそろ
始めましょうかしら



どう?
細い一本だけでも
ゾクゾクしちゃうでしょ?

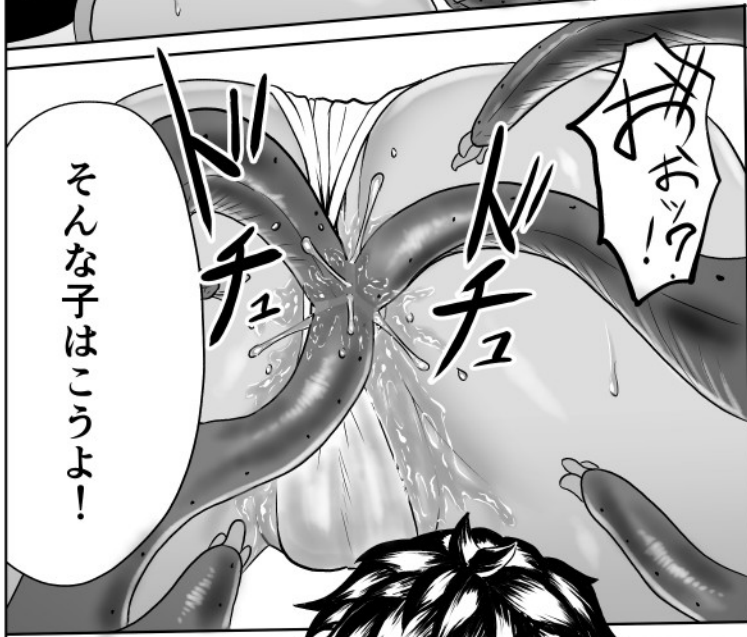




違うッ…!
それは媚毒の…!

ケツ穴ほじられて
いい声出すじゃない

スチ
アチ



そんな子はこうよ!

おあ?
おあ?

チュ
チュ



口答えする気?
生意気ね



ほらっ
全部ケツで
啜えなさい!

グ
チュ

おあ!
おあ!



ご褒美にこの子たち全員で
ケツの中掻きまわしてあげるわ



すごいわ
本当に全部入るなんて



おんぐお
おわああ!!



汚い声ね
女の子が出している
声じゃないわよ



イヤ
イヤ
やめて!!



ズチッ
ズチッ

苦しいッ…!
中で暴れてる…!



せめて声だけでもッ…!

でも…
お尻で感じるなんて
絶対認めたくないっ

ズチッ
ズチッ
なのに
すごい
感じてる…!



どこまでも
可愛くないわねっ
それじゃ…

スッ



なによ
急に静かになって
もしかして
この期に及んで
まだ反抗する気?

もっと激しく
責めてあげるわ！

グググ
グググ
グググ

ビチャッ
ビチャッ
ビチャッ

ムリッ！
こんなの
耐えられないっ！

アアア
アアア
アアア



ああああ
ああああ
ああああ

ヌグッ
ヌグッ
ヌグッ

ア
ミ
ア
ア



なんて心地いいのかしら

レレレッ
レレレッ
レレレッ



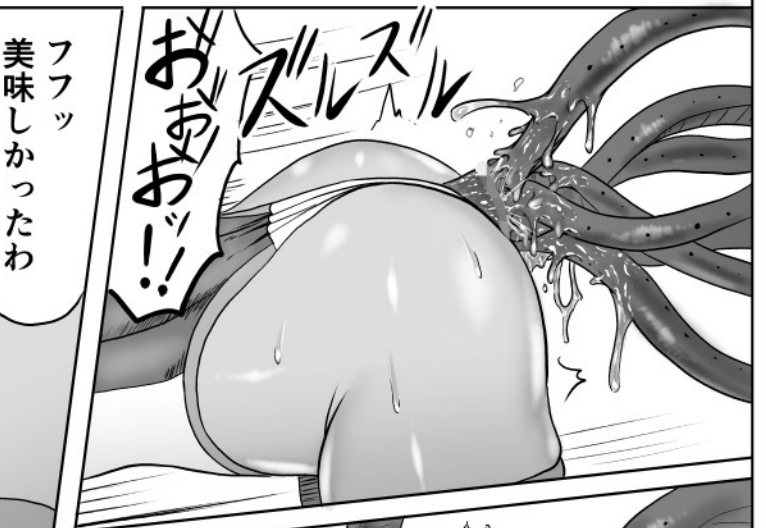
ああっ
あなたの絶頂が魔力となって
私に注がれていくわ!

もの
もの



くっ
僕が魔物の
食い物に
されるなんて…!

フフッ
美味しかったわ



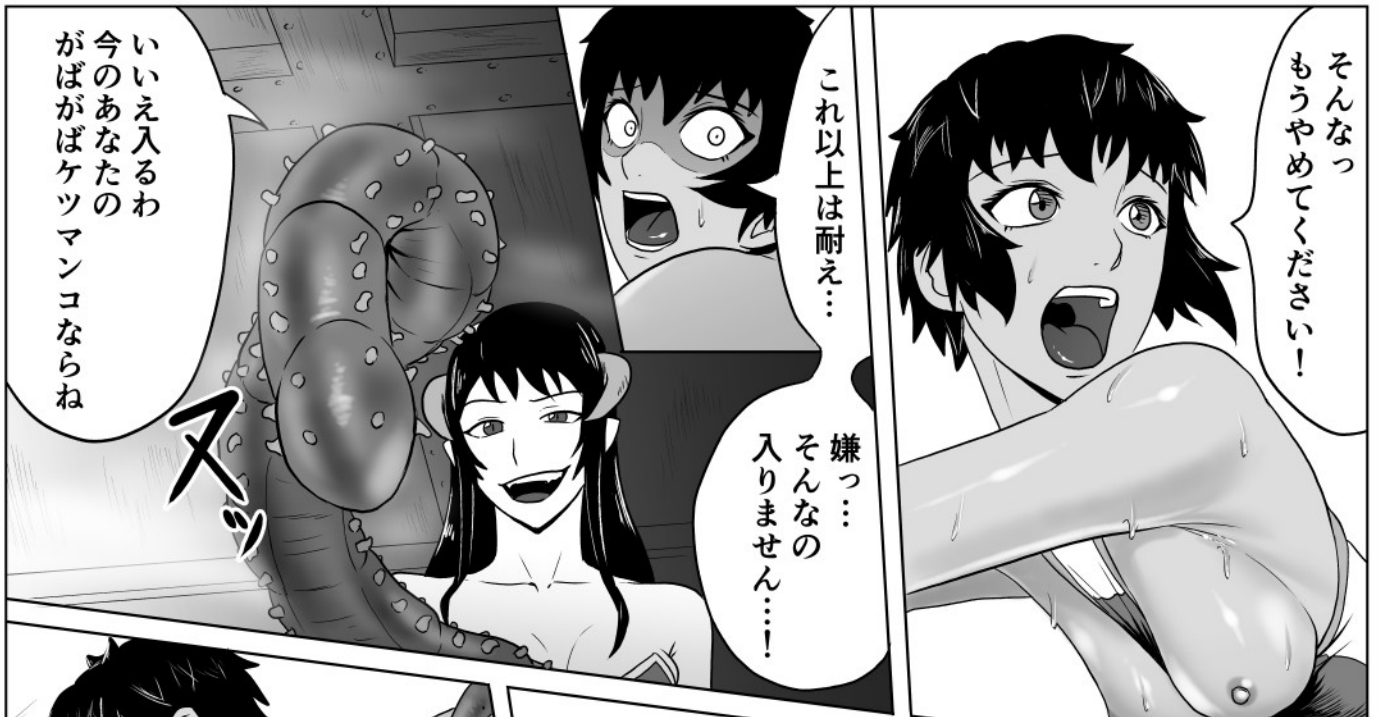
おあッ!!
ズルズル



でも…
まだまだ足りないわ!

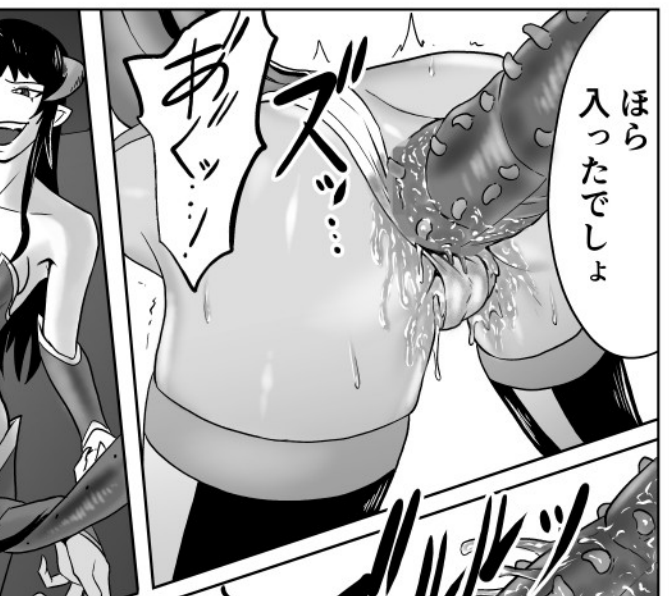


あッ!!
ヌポッ



ほら
入ったでしょ

でも当然これで
終わりじゃないわ
この太い触手でも
ケツ穴ズボズボ
犯してあげる



すっごい声ね
恥ずかしくないの？

ズボズボ



お尻が壊れちゃう！
ズポッ

お腹の中が
圧迫されて苦しむ……！

ズポッ
ズポッ

グリュリュ

突起が中を
抉ってくる……！

ズリュ

ズリュ



やあ
あああ！！

あああ！！

ガク

ガク

ガク

ガク

アハハ！
足が震えてるわよ
そんなに気持ちいいの？

もしかして
ケツ穴犯されるの
好きになっちゃったの？



嫌っ
そんなことしないで!



おっと
この子もう限界みたいね
ケツマンコに中出し
してくれるわよ



嫌あつ!
中に出されてるっ

あぁあぁ!!



無様なケツアクメね
おかげで
甘い魔力が吸えるわ

ンピュ
ンピュ

ダプッ
ダプッ



今抜かれたら
中のが出ちゃう!

んああ!
だめえ!!

スポッ

グリュウ

いやあ
ああ!!

ブルルッ



アハハ!
汚いザーメン排泄ね

ンポ
トポ

悔しいっ
お尻でイカされた挙句
こんな恥ずかしいところ
敵に見られるなんて...!!



これじゃあ
もうお嫁に
いけないわね

許しません…

?



これで満足した
つもりだったけど…

もう一回
犯してあげるわ!



僕をこんなに辱めたあなたは
絶対に許しません!



ラッ

へえ
まだそんな態度とれるのね
自分の立場ってもの
分かってるの?

くっ…
これ以上どうやって
辱めると
いうんですか…

なっ…なんで
そんなものが

このチンポは
あなたの快楽から吸い取った
魔力を使って創り出したものよ

今からこれで
犯してあげる

大きいっ…
でもさっきの触手と比べたら
大したことない…

グッ
グッ
グッ



スッ

大丈夫っ
きつと耐えて見せる…!!

いくわよ!





ぐあああ！
なんでそこをっ!?

なによ？
ケツ穴犯されると思ってたの？
どれだけ病みつきになったのよ



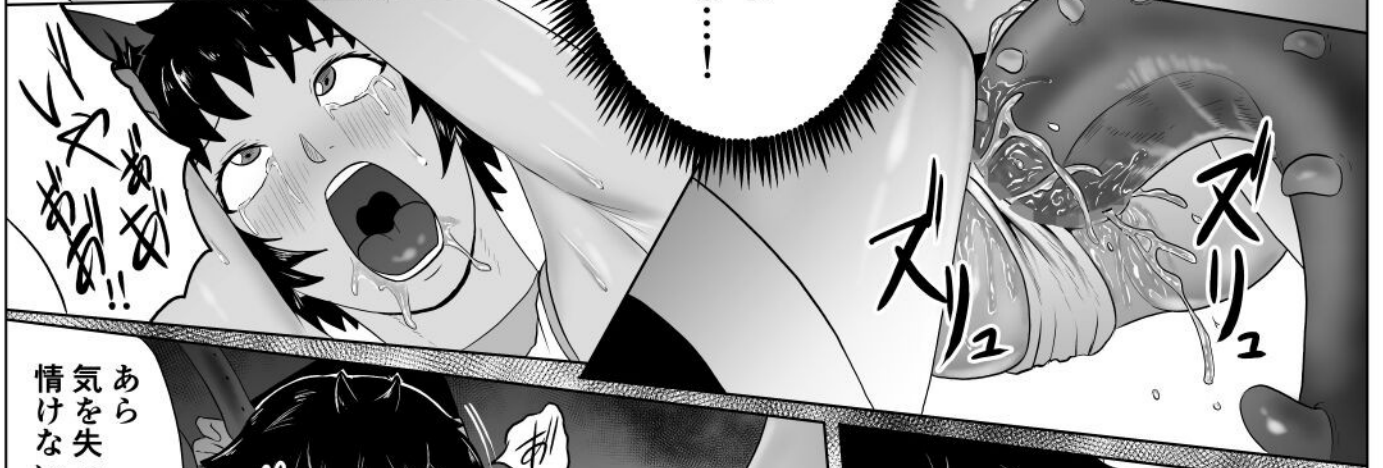
それなら両方
犯してあげるわ！

ほら
これで満足？



嫌あ！
マンコとお尻
同時に犯されてる！

あああ！！
あああ！！





反応がないんじゃない
つまらないじゃない

アッアッ



ほら
今起こして
あげるわ



なんで
こんなことだ
なってるの...??

なに??
苦しい...!
喉に何か入ってくる!

そうだ
サキュバスに犯されて
気絶したんだっ...

ポコッ

まさかこれで
起こされたの??

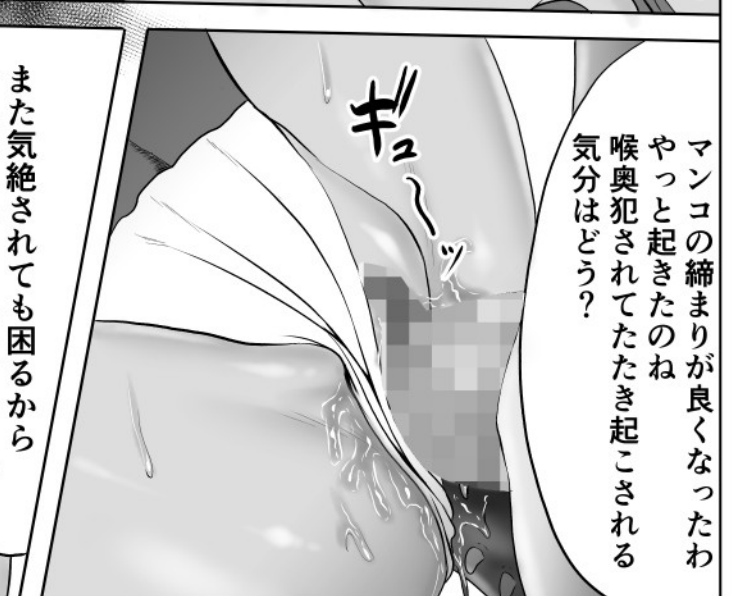


むっ...おっおっ!!?

ズル
クワッ



んんん!!
嫌あつ
これ抜いてえ!



マンコの締めまりが良くなったわ
やっとなってきたのね
喉奥犯されてたたき起こされる
気分はどう??

また気絶されても困るから
それ啜えたままにしておくわ

キョッ



えっ？
喉が気持ち
よくなって…

まさかこれも
媚毒の影響…！



全部の穴犯されて
感じるなんて…！

こんなの激しすぎるっ
それなのに気を失うことも
許されないなんて…！



あら
快感が強すぎたのかしら
体が耐え切れなくなったみたいね
体が勝手に痙攣を始めてるわ



もうムリ…
これ以上は
耐えられない…！



でもまだまだいくわよ!

アハハ!
奥まで突かれて
びくついてるわ!



すごいわ!
外からでも
奥まで入ってるのが
見えるわ



それならケツ穴も
奥まで入れてあげる



やめてえ!
死んじゃうう!



最後は喉奥
貫いてあげる



あぁっ
大量の魔力が流れ込んでくる！

こんな濃い魔力になるなんて

ブルンッ

モッ

モッ



相当強いアクメだったみたいね
どうだったかしら？
気持ちよかったですよ？

フフッ
答える気力も
残ってないようね

おっ...

ブルンッ
グッ

ブルンッ



まあ当然よね

これだけ感じて
耐えきれぬ方がおかしいわ

ゴポポポ...



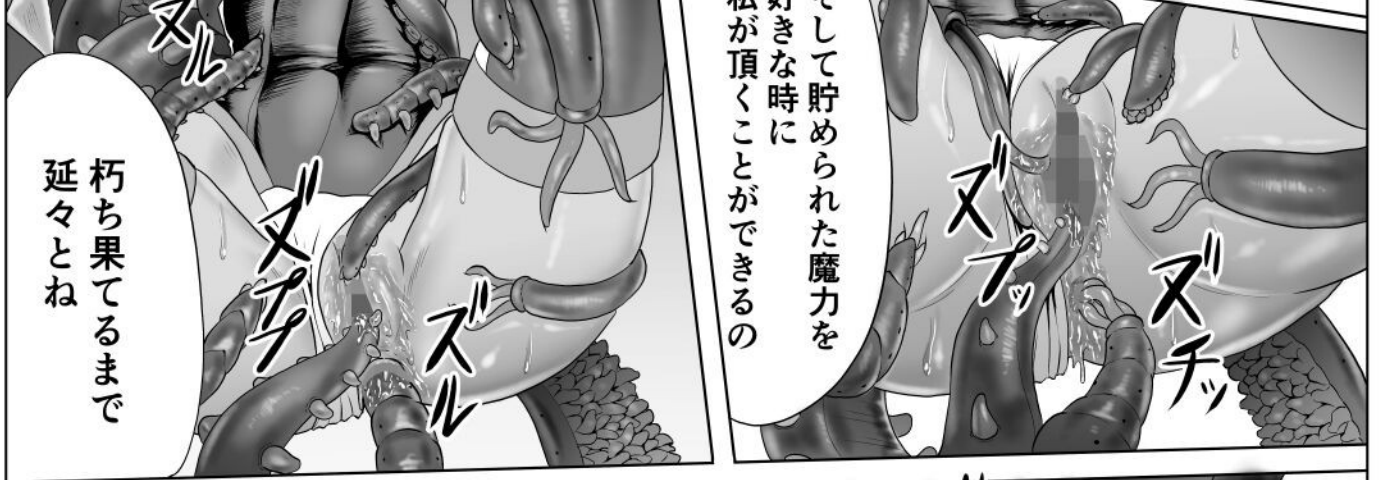
いいわ
あなたのこと
気に入ったわ

特別に私の
「ペット」に
してあげる



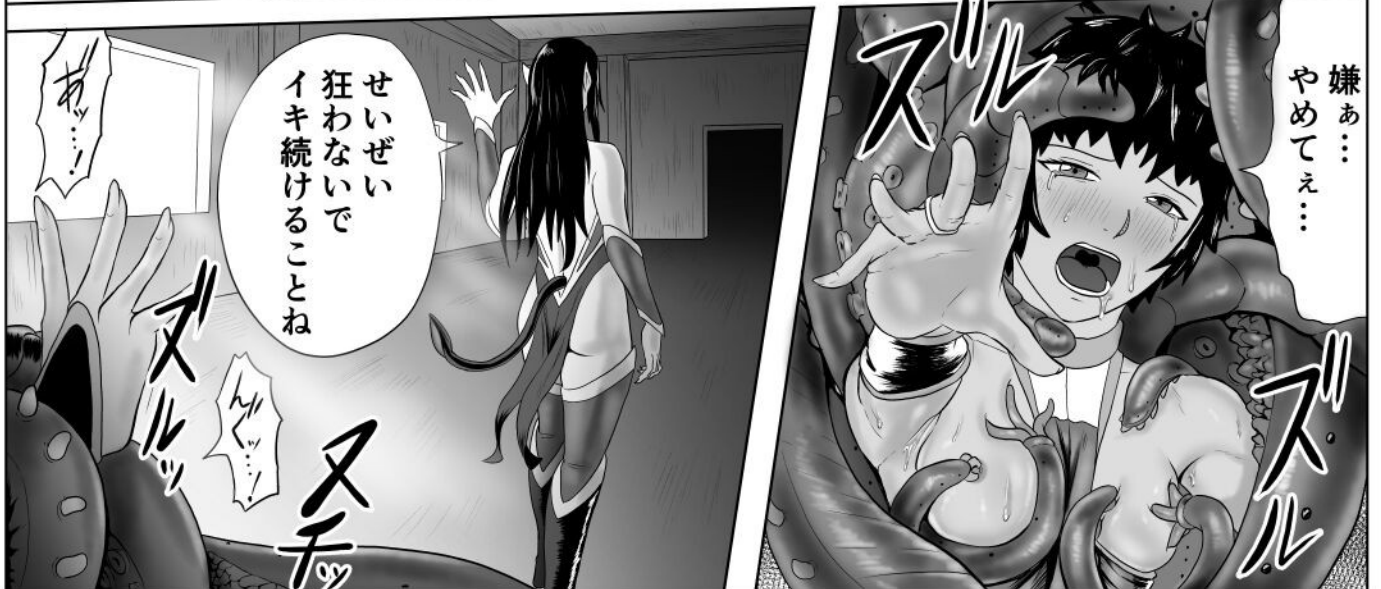
私の使い魔達わね
私と同じように
快楽を魔力に変換することが
できるのよ

つまりあなたには
私の魔力供給源
となってもらうわ



そして貯められた魔力を
好きな時に
私が頂くことができるの

朽ち果てるまで
延々とね



嫌あ：
やめてえ：
：

せいぜい
狂わないで
イキ続けることね

ズルッ

ズルッ



リミッター解除!!!



くっ... このままじゃマズイ!

もう「アレ」を使うしかない!



あなた... まだそんな力が残ってたの...!?



なにっ? 何が起きたの!?





これで任務完了ッ：

くっ：
やっぱりリミッター解除は
反動が大きいな：

ハア

ポッ



ノイズがひどいが
かろうじて聞こえる

そうか
よくやった
今から回収に向かう
しばらくそこで
休んでいてくれ

魔物討伐
完了しました

ありがとうございます
ございます



そうだ
司令部に連絡
入れないと

こちら六花
聞こえますか？



はあ終わった：



大変な一日だったなあ

クッ



